



エクステンション モビリティ

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified Cisco Mobility Express) の機能に関して説明します。この機能は、エンドユーザーに電話機モビリティのサポートをします。

- [エクステンション モビリティを設定するための前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [エクステンションモビリティの構成に関する制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [エクステンションモビリティの設定について \(2 ページ\)](#)
- [エクステンションモビリティの有効化 \(7 ページ\)](#)
- [エクステンションモビリティの設定例 \(23 ページ\)](#)
- [次の作業 \(25 ページ\)](#)
- [エクステンションモビリティの機能情報 \(25 ページ\)](#)

エクステンションモビリティを設定するための前提条件

- Cisco Unified CME 4.2 以降のバージョン。
- 電話機のユーザ インターフェイスを使用して個人短縮ダイヤルをエクステンション モビリティ電話機に直接設定するには、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンがインストールされていること。
- SIP 電話機がサポートされるのは、Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョン。

エクステンションモビリティの構成に関する制約事項

- リモート Unified Cisco Mobility Express ルータのエクステンションモビリティはサポートされません。ローカルの Cisco Unified IP Phone にのみログインできます。
- 異なるサブネットの Cisco Unified IP Phone にログインする場合、エクステンションモビリティはサポートされません。

エクステンション モビリティの設定について

エクステンション モビリティ

Cisco Unified CME 4.2 以降のバージョンのエクステンション モビリティ機能を使用して、エンドユーザは電話機のモビリティを活用できます。

ユーザ ログイン サービスを使用すると、電話機ユーザは自分の電話機以外の物理的な電話機に一時的にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定（ディレクトリ番号、スピードダイヤルリスト、サービスなど）を利用できます。電話機のユーザは、アクセスした電話機で自分の卓上電話機と同じ個人設定のディレクトリ番号を使用して、コールを発信および受信することができます。

エクステンション モビリティが有効になっている各 Cisco Unified IP Phone は、ログアウト プロファイルで設定されます。エクステンション モビリティが有効になっている電話機にどの電話機ユーザもログインしていない場合、その電話機のデフォルトのアピランスは、このプロファイルによって決定されます。少なくとも、このログアウト プロファイルによって、911 などの緊急サービスにコールできるようになります。単一のログアウト プロファイルを複数の電話機に適用できます。

エクステンション モビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone が起動した後、電話機の [サービス (Services)] 機能ボタンに、エクステンション モビリティのログイン ページを示す、Cisco Unified CME でホストされるログイン サービス URL が設定されます。Extension Assigner を [Services (サービス)] 機能ボタンに追加するために、機能ボタン固有の設定を行う必要はありません。エクステンション モビリティのオプションは、電話機ユーザが [Services (サービス)] 機能ボタンを押すと表示されるオプションのリストの最後に表示されます。

電話機ユーザは、[サービス (Services)] ボタンを押して、エクステンション モビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone にログインします。または、Unified CCX エージェントが Unified CCX Cisco Agent Desktop を使用してログインできます。ユーザの認証と承認は、Cisco Unified CME で実行されます。正常にログインすると、Cisco Unified Cisco Mobility Express は、ユーザー名およびパスワードを照合して、適切なユーザー プロファイルを取得し、電話機のログアウト プロファイルをユーザー プロファイルに置き換えます。

電話機ユーザがログインすると、サービス URL が Cisco Unified CME によってホストされているログアウト URL をポイントし、電話機にログアウト プロンプトが提供されます。別のデバイスにログインすると、最初のセッションは自動的に閉じられ、新しいデバイスで新しいセッションが開始されます。電話機ユーザが、どの電話機にもログインしていない場合、電話機ユーザのディレクトリ番号への着信通話は電話機ユーザの音声メールボックスに送信されます。

ボタンの外観については、エクステンション モビリティが電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザー プロファイルのスピードダイヤル番号を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ビープ音呼び出し、機能呼び出し、モニタ呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順に

なります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多数の番号がプロファイルに含まれている場合、プロファイル内の残りの番号は無視されます。

構成情報については、[エクステンションモビリティの有効化（7ページ）](#)を参照してください。

エクステンション モビリティ電話機の個人短縮ダイヤル

Unified Cisco Mobility Express 電話機ユーザーは、Cisco IOS CLI コマンドを使用し、エクステンションモビリティ電話機で個人用スピードダイヤルを構成します。

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、エクステンション モビリティのユーザは電話機に直接自分のスピードダイヤルを設定できます。スピードダイヤル設定は、[サービス (Services)] 機能ボタンで使用できるメニューを使用して、電話機に追加または変更できます。電話機ユーザーインターフェイスを介したスピードダイヤル設定への変更は、エクステンションモビリティのユーザープロファイルに適用されます。Cisco Unified IP Phone での電話機ユーザーインターフェイスの使用については、『[Cisco Unified IP Phone 7900 Series エンドユーザーガイド](#)』を参照してください。

電話機ユーザーインターフェイスは、画面付きのすべての電話機で、デフォルトで有効になっています。個々の電話に対してこの機能を無効にして、電話機ユーザがインターフェイスにアクセスできないようにすることができます。構成情報については、[スピードダイヤルとファストダイヤルの構成用電話機ユーザーインターフェイスの有効化](#)を参照してください。

Cisco Unified CME エクステンション モビリティの拡張機能

Cisco Unified CME 4.3 のエクステンション モビリティには、次の拡張機能があります。

- 設定可能な自動ログアウト
- コール履歴の自動クリア

自動ログアウト

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンには、エクステンション モビリティに対応した自動タイムアウト機能が含まれています。自動ログアウトが実行されると、Cisco Unified CME はログアウトプロファイルを電話機に送信して、電話機を再起動します。自動ログアウト後、エクステンション モビリティ ユーザはもう一度ログインできます。

24 時間制の時計で最大 3 つの異なる時刻を設定し、時刻に基づいてエクステンション モビリティユーザを自動的にログアウトすることができます。このシステム時計によって、指定した時刻にアラームがトリガーされ、Cisco Unified CME の EM マネージャは、システム内のすべてのエクステンション モビリティ ログインユーザをログアウトします。自動ログアウトが行われるときに、エクステンションモビリティのユーザが電話機を使用している場合、そのユーザはアクティブなコールが終了してからログアウトされます。

構成情報については、[エクステンションモビリティ向け Cisco Unified Cisco Mobility Express の構成（7ページ）](#)を参照してください。

ユーザは、[サービス (Services)] ボタンを押して、[ログアウト (Logout)] を選択すると、エクステンションモビリティからログアウトします。電話機から離れる前にユーザが手動でログアウトしなかった場合、電話機は、アイドル状態となり、個々のユーザープロファイルがその電話機にロードされたままになります。アイドル状態のエクステンションモビリティ電話機から個々のユーザを自動的にログアウトするには、エクステンションモビリティ用にアイドル期間タイマーを設定します。このタイマーは電話機をモニタし、指定した最大アイドル時間を超過すると、EMマネージャによってユーザがログアウトされます。アイドル期間タイマーは、電話機がオフフックになるたびにリセットされます。

構成情報については、[ユーザープロファイルの設定 \(19 ページ\)](#) を参照してください。

コール履歴の自動クリア

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、Cisco Unified CME の EM マネージャによって電話機にコマンドが発行され、ユーザがエクステンションモビリティをログアウトするたびに、コール履歴がクリアされます。エクステンション モビリティ電話機と、Cisco Unified CME の認証サーバ間で、HTTP GET/POST が送信されます。認証サーバは要求を承認し、その結果に基づいてコール履歴がクリアされます。

電話履歴の自動クリアが無効になるように、Cisco Unified CME を設定できます。構成情報については、[エクステンションモビリティ向け Cisco Unified Cisco Mobility Express の構成 \(7 ページ\)](#) を参照してください。

エクステンション モビリティ 電話機でのプライバシー

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、電話機ユーザはプライバシー機能を使用して、他のユーザがコール情報を表示したり、共有オクトラインディレクトリ番号でのコールに割り込んだりできないように設定できます。電話機が共有オクトラインで着信コールを受信すると、ユーザは[プライバシー (Privacy)] 機能ボタンを押してそのコールをプライベートに設定することができます。このボタンでは、オン/オフを切り替え、電話機のプライバシー設定を変更することができます。プライバシー状態は、電話機のユーザが所有する新しいすべてのコールと現在のコールに適用されます。

エクステンション モビリティ電話機の場合、ユーザープロファイルとログアウト プロファイルで[プライバシー (Privacy)] ボタンを有効にできます。プライバシーボタンを有効化するには、「[IP 電話機のログアウトプロファイルの構成 \(10 ページ\)](#)」と「[ユーザープロファイルの設定 \(19 ページ\)](#)」を参照してください。

プライバシー詳細については、「[割り込みとプライバシー](#)」を参照してください。

SIP 電話機拡張用エクステンション モビリティ

Cisco Unified CME 8.6 はエクステンション モビリティ機能が拡張され、SIP 電話機をサポートできます。

エクステンションモビリティにより、EMが有効になっているすべての物理的な電話機にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定（たとえば、ディレクトリ番号、ス

スピードダイヤル、After-Hour Personal Identification Number (PIN)、および機能ボタンのレイアウト) を利用できます。

ユーザ ログイン サービスを使用すると、自分の電話機以外の物理的な電話機に一時的にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定 (ディレクトリ番号、スピードダイヤル リスト、サービスなど) を利用できます。

SIP 電話機のエクステンション モビリティの機能は SCCP 電話機の場合と同じですが、設定手順のみ異なります。SIP 電話機のエクステンションモビリティの構成については、「[SIP 電話機向けエクステンションモビリティの構成 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。



(注) 同じユーザープロファイルを使用して、SCCP 電話機または SIP 電話機のどちらにもログインできます。



(注) SIP 電話機にログインしたときに適用されるのは、自分のユーザープロファイルに設定されている通常回線だけです。オーバーレイ、モニタ、および機能リング回線など、他の回線は無視されます。



(注) ユーザープロファイルに設定した [不在 (Cfwdall)]、[会議 (Confm)]、[サイレント (DND)]、[終了 (Endcall)]、[保留 (Hold)]、[発信 (Newcall)]、[グループピックアップ (Group Pickup)]、[パーク (Park)]、[プライバシー (Privacy)]、[リダイヤル (Redial)]、および [転送 (Trnsfer)] の各機能ボタンのみが、SIP 電話機にログインすると適用されます。他の機能ボタンは無視されます。

Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、Cisco Unified SCCP IP エクステンション モビリティ (EM) 電話機をモニタするために、新しい MIB オブジェクトが追加されています。これらの拡張機能により、次の情報を取得できます。

- ログインしたときの、Cisco Unified SCCP IP EM 電話機のユーザープロファイル タグ
- Cisco Unified SCCP IP EM 電話機のログアウト プロファイル タグ
- 各ユーザープロファイルの DN とそのタイプ、およびオーバーレイまたはコール待機番号 (該当する場合)
- 各ログアウトプロファイルの DN とそのタイプ、およびオーバーレイまたはコール待機番号 (該当する場合)
- EM 電話機として設定されている Cisco Unified SCCP IP Phone の番号

- 登録された Cisco Unified SCCP IP EM 電話機の番号

表 1 : Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用の MIB 変数とオブジェクト ID (6 ページ) に、新しい MIB データベースを取得するための MIB 変数とオブジェクト ID を示します。

表 1 : Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用の MIB 変数とオブジェクト ID

| MIB 変数 | オブジェクト識別子 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| ccmeEMUserProfileTag | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.43.1.19 |
| ccmeEMLogOutProfileTag | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.43.1.20 |
| ccmeEMUserDirNumConfTable | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68 |
| ccmeEMUserDirNumConfEntry | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1 |
| ccmeEMUserDirNum | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1.3 |
| ccmeEMUserDirNumOverlay | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1.4 |
| ccmeEMLogoutDirNumConfTable | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69 |
| ccmeEMLogoutDirNumConfEntry | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1 |
| ccmeEMLogoutDirNum | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1.3 |
| ccmeEMLogoutDirNumOverlay | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1.4 |
| ccmeEMphoneTot | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.2.9 |
| ccmeEMphoneTotRegistered | 1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.2.10 |

表 2 : Cisco Unified SCCP IP 電話機の EM 向け MIB 変数の説明 (6 ページ) に、Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用の各 MIB 変数についての説明を示します。

表 2 : Cisco Unified SCCP IP 電話機の EM 向け MIB 変数の説明

| MIB 変数 | 説明 |
|-----------------------------|-------------------------------|
| ccmeEMUserProfileTag | EM 電話機のユーザープロファイル タグ |
| ccmeEMLogOutProfileTag | EM 電話機のログアウト プロファイル タグ |
| ccmeEMUserDirNumConfTable | EM 電話機のユーザープロファイルのエントリ表 |
| ccmeEMUserDirNumConfEntry | EM 電話機のユーザープロファイル エントリ |
| ccmeEMUserDirNum | ユーザープロファイルのディレクトリ番号 |
| ccmeEMUserDirNumOverlay | オーバーレイ ID など、ユーザープロファイルの番号タイプ |
| ccmeEMLogoutDirNumConfTable | EM 電話機のログアウトプロファイルのエントリ表 |

| MIB 変数 | 説明 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| ccmeEMLogoutDirNumConfEntry | EM 電話機のログアウト エントリ |
| ccmeEMLogoutDirNum | ログアウト プロファイルのディレクトリ番号 |
| ccmeEMLogoutDirNumOverlay | オーバーレイ ID など、ログアウト プロファイルの番号タイプ |
| ccmeEMphoneTot | EM 電話機の合計数 |
| ccmeEMphoneTotRegistered | 登録された EM 電話機の合計数 |

エクステンションモビリティは、Cisco Unified CME ではサポートされていますが、Cisco Unified SRST ではサポートされていません。

エクステンションモビリティの有効化

エクステンションモビリティ向け Cisco Unified Cisco Mobility Express の構成

Cisco Unified CME にエクステンションモビリティを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco Unified CME の認証サーバ用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。
- 自動ログアウト用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip http server**
4. **telephony-service**
5. **url authentication url-address application-name password**
6. **service phone webAccess 0**
7. **authentication credential application-name password**
8. **em keep-history**
9. **em logout time1 [time2] [time3]**
10. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | <p>enable</p> <p>例 :</p> <pre>Router> enable</pre> | <p>特権 EXEC モードを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | <p>configure terminal</p> <p>例 :</p> <pre>Router# configure terminal</pre> | <p>グローバル構成モードを開始します。</p> |
| ステップ 3 | <p>ip http server</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# ip http server</pre> | <p>エクステンション モビリティのログインおよびログアウト ページのサービス URL をホストする Cisco Unified CME ルータで、HTTP サーバを有効にします。</p> |
| ステップ 4 | <p>telephony-service</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# telephony-service</pre> | <p>telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。</p> |
| ステップ 5 | <p>url authentication url-address application-name password</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# url authentication http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp secretname psswr</pre> <p>または</p> <p>エクステンションモビリティと VoiceView Express 3.2 以前のバージョンをサポートする</p> <pre>Router(config-telephony)# url authentication http://192.0.2.0/voiceview/authentication/authenticate.do secretname psswr</pre> | <p>認証サーバに HTTP 要求を送信するよう電話機に設定し、どのクレデンシャルを要求で使用するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。電話履歴の自動クリアをサポートするために必要です。 • Cisco Unified Cisco Mobility Express の内部認証サーバーの URL は、http://Cisco Mobility Express IP Address/CCMCIP/authenticate.asp です。 • エクステンション モビリティおよび Cisco VoiceView Express 3.2 以前のバージョンのみをサポートするには、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Cisco Mobility Express の場合 : Cisco Unity Express の URL を使用して url authentication コマンドを構成します。Cisco Unity Express の URL は、http://CUE IP アドレス/voiceview/authentication/authenticate.do です。 • Cisco Unity Express の場合 : Cisco Unified Cisco Mobility Express の認証 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| | | <p>サーバーの URL を使用して fallback-url コマンドを構成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「例 (10 ページ)」を参照してください。 |
| ステップ 6 | <p>service phone webAccess 0</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# service phone webAccess 0</pre> | <p>IP Phone の webAccess を有効にします。Web サーバはデフォルトで無効になっているため、9.x ファームウェアにはこの手順が必要です。8.x 以前のファームウェアでは、Web サーバはデフォルトで有効になっていました。</p> |
| ステップ 7 | <p>authentication credential application-name password</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# authentication credential secretname psswr</pre> | <p>(任意) Cisco Unified CME 認証サーバで使用されるデータベースに、アプリケーションのクレデンシャル用のエントリを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。 Cisco VoiceView Express など、エクステンションモビリティ以外のアプリケーションからの要求をサポートするために必要です。 |
| ステップ 8 | <p>em keep-history</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# em keep-history</pre> | <p>(任意) ユーザがエクステンションモビリティ電話機からログアウトしても、コール履歴を自動的にクリアせずに、エクステンションモビリティで保持されるように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。 デフォルト : 電話履歴の自動クリアは有効になっています。 |
| ステップ 9 | <p>em logout time1 [time2] [time3]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-telephony)# em logout 19:00 24:00</pre> | <p>(任意) すべてのエクステンションモビリティユーザを自動的にログアウトする時刻タイマーを、最大 3 つ定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|---|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • <i>time</i> — ログインユーザーが、エクステンションモビリティから自動でログアウトされる時間。範囲：24 時間制で 00:00 ~ 24:00。 • 各ユーザーを自動ログアウトするためにアイドル期間タイマーを構成については、「ユーザープロファイルの設定 (19 ページ)」を参照してください。 |
| ステップ 10 | end 例： Router(config-telephony)# end | コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。 |

例

次に、エクステンション モビリティと Cisco VoiceView Express をサポートするように、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンおよび Cisco Unity Express 3.2 以前のバージョンを設定する方法の例を示します。



(注) エクステンションモビリティと Cisco VoiceView Express 3.2 およびそれ以前のバージョンを実行している場合、Cisco Unity Express の **fallback-url** コマンドも構成する必要があります。構成情報については、『[Cisco Unity Express アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン

```
telephony-service
url authentication http://192.0.2.0/voiceview/authentication/authenticate.do secretname
psswrđ
authentication credentials secretname psswrđ
```

Cisco Unity Express 3.2 以前のバージョン

```
service phone-authentication
fallback-url http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp?UserID=secretname&Password=psswrđ
```

IP 電話機のログアウトプロファイルの構成

ログアウト プロファイルを作成して、エクステンション モビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone のデフォルト アピアランスを定義するには、次の手順を実行します。



制約事項

- ボタンの外観について、エクステンション モビリティは、電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザープロファイルのスピードダイヤル定義を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ブープ音呼び出し、機能呼び出し、モニタ呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順になります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多い数の、ディレクトリ番号とスピードダイヤル番号がプロファイルに含まれている場合、すべての番号がボタンにダウンロードされるわけではありません。
- ライン アピアランス用に設定された最初の番号を、モニタ対象のディレクトリ番号にすることはできません。
- 認証クレデンシャルのユーザ名パラメータは一意にする必要があります。Cisco Unified Cisco Mobility Express で、2 つ以上の認証ログイン情報を構成する場合は、ログアウトのユーザー名やエクステンションモビリティのユーザープロファイルなど、ユーザー名に同じ値を使用しないでください。

始める前に

- ログアウトプロファイルに含めるすべてのディレクトリ番号、またはユーザープロファイルが、Cisco Unified CME で事前に設定されていること。構成情報については、[基本通話を発信する電話機の構成](#)を参照してください。
- エクステンション モビリティ電話機でのプライバシー用には、Cisco Unified 4.3 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice logout-profile** *profile-tag*
4. **user name password** *password*
5. **number** *number type type*
6. **speed-dial** *speed-tag number [label label] [blf]*
7. **pin** *number*
8. **privacy-button**
9. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------|---------------------|
| ステップ 1 | enable 例 : | 特権 EXEC モードを有効にします。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| | Router> enable | <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | voice logout-profile profile-tag 例： Router(config)# voice logout-profile 1 | ログアウトプロファイルを作成するための音声ログアウトプロファイル設定モードを開始して、エクステンション モビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone のデフォルトのアピアランスを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> profile-tag — 構成タスク中にこのプロファイルを識別する一意の番号。範囲：1 から Cisco Unified CME ルータでサポートされる電話機の最大数まで。? と入力すると、最大数が表示されます。 |
| ステップ 4 | user name password password 例： Router(config-logout-profile)# user 23C2-8 password 43214 | Cisco Unified CME にログインするために、TAPI 電話機デバイスによって使用されるクレデンシャルを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> name — この認証ログイン情報のみに関して、ユーザーを識別するための一意の英数文字列。 password — 英数文字列。 |
| ステップ 5 | number number type type 例： Router(config-logout-profile)# number 3001 type silent-ring Router(config-logout-profile)# number 3002 type beep-ring Router(config-logout-profile)# number 3003 type feature-ring Router(config-logout-profile)# number 3004 type monitor-ring Router(config-logout-profile)# number 3005,3006 type overlay Router(config-logout-profile)# number 3007,3008 type cw-overly | 回線定義を作成します。 <ul style="list-style-type: none"> number — このプロファイルで構成されている Cisco Unified IP Phone のボタンに関連付けられ、そのボタンの横に表示されるディレクトリ番号。 [...number] — (オプション) オーバーレイ回線専用。通話中着信の有無は無関係です。コマンドリストの最も左側にあるディレクトリ番号のプライオリティが最も高くなります。最大 25 個の番号を使用できます。個々の番号は、カンマで区切る必要があります。(,)。 type type — この回線に関連付ける特性を指定します。オプションのリストを表示するには、? と入力します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| ステップ 6 | <p>speed-dial <i>speed-tag number</i> [<i>label label</i>] [<i>blf</i>]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-logout-profile)# speed-dial 1 2001 Router(config-logout-profile)# speed-dial 2 2002 blf</pre> | <p>スピードダイヤル定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>speed-tag</i> — 構成タスク中にスピードダイヤル定義を識別する一意のシーケンス番号。範囲 : 1 ~ 36。 • <i>number</i> - [スピードダイヤル (Speed-Dial)] ボタンを押したときにダイヤルされる番号。 - • <i>label label</i> — (オプション) [スピードダイヤル (Speed-Dial)] ボタンの横に表示される識別用テキストを含む文字列。文字列にスペースを含む場合は引用符で囲みます。 • <i>blf</i> — (オプション) スピードダイヤル番号用の話中ランプフィールド (BLF) モニタリングを有効にします。 |
| ステップ 7 | <p>pin <i>number</i></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-logout-profile)# pin 1234</pre> | <p>電話機ユーザが使用する Personal Identification Number (PIN) を設定して、このプロファイルがダウンロードされる Cisco Unified IP Phone のコールブロッキング設定を無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>number</i> — 4 ~ 8 桁の数字を含む数字列。 |
| ステップ 8 | <p>privacy-button</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-logout-profile)# privacy-button</pre> | <p>(任意) IP Phone でプライバシー機能ボタンを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、オクトラインディレクトリ番号を共有する電話機に対してのみ有効にします。 • このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。 |
| ステップ 9 | <p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-logout-profile)# end</pre> | <p>特権 EXEC モードに戻ります。</p> |

エクステンションモビリティ向け IP 電話機の有効化

Cisco Unified CME で個々の Cisco Unified IP Phone のエクステンションモビリティ機能を有効にするには、次の手順を実行します。



(注) 機能ボタンの URL プロビジョニングをサポートする画面を持つすべての SCCP Cisco Unified IP Phone は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7920、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921、および Cisco IP Communicator などのエクステンション モビリティによってサポートされます。



- 制約事項
- エクステンション モビリティは、電話機に画面がない Cisco Unified IP Phone ではサポートされません。
 - エクステンション モビリティは、アナログ デバイスではサポートされません。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータで HTTP サーバが有効になっていること。構成情報については、[エクステンションモビリティ向け Cisco Unified Cisco Mobility Express の構成 \(7 ページ\)](#) を参照してください。
- 電話機に割り当てるログアウトプロファイルが Cisco Unified CME で設定されていること。
- エクステンション モビリティを有効にする Cisco IP Communicator が Cisco Unified CME に事前に登録されていること。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-tag***
4. **mac-address *mac-address***
5. **type *phone-type***
6. **logout-profile *profile-tag***
7. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 3 | ephone <i>phone-tag</i> 例： Router(config)# ephone 1 | 電話機コンフィギュレーションモードを有効にします。 • <i>phone-tag</i> —構成タスク中にこの電話機を識別する一意の番号。範囲は、1 からサポートされる電話機の最大数までです。この最大数はプラットフォームとバージョンによって異なり、 max-ephone コマンドを使用して定義されます。 |
| ステップ 4 | mac-address <i>mac-address</i> 例： Router(config-ephone)# mac-address 000D.EDAB.3566 | 物理的な電話機をこの ephone 設定に関連付けます。 |
| ステップ 5 | type <i>phone-type</i> 例： Router(config-ephone)# type 7960 | 設定する電話機に電話機タイプを定義します。 |
| ステップ 6 | logout-profile <i>profile-tag</i> 例： Router(config-ephone)# logout-profile 1 | エクステンションモビリティ用に Cisco Unified IP Phone を有効にして、この電話機にログアウトプロファイル割り当てます。 • <i>tag</i> — この電話機に電話機ユーザーがログインしていない場合に使用されるログアウトプロファイルの固有識別子。このプロファイルが voice logout-profile コマンドを使用して構成された場合、このタグ番号は作成したタブ番号に対応します。 |
| ステップ 7 | end 例： Router(config-ephone)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

SIP 電話機向けエクステンションモビリティの構成

SIP 電話機で使用されるようにエクステンションモビリティを準備するには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco IOS Release 15.1(4)M。
- Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip http server**
4. **voice register global**
5. **url authentication** *url-address application-name password*
6. **exit**
7. **telephony-service**
8. **authentication credential** *application-name password*
9. **em keep-history**
10. **em logout** *time1 [time2] [time3]*
11. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 (注) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | ip http server 例： Router(config)# ip http server | エクステンション モビリティのログインおよびログアウトページのサービス URL をホストする Cisco Unified CME ルータで、HTTP サーバを有効にします。 |
| ステップ 4 | voice register global 例： Router(config)# voice register global | グローバル音声レジスタ コマンドを定義します。 |
| ステップ 5 | url authentication <i>url-address application-name password</i> 例： Router(config-register-global)# url authentication http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp secretname psswrđ | 認証サーバに HTTP 要求を送信するよう電話機に設定し、どのクレデンシャルを要求で使用するかを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話履歴の自動クリアをサポートするために必要です。 • application-name : このコマンドで選択して定義するユーザ名。 • password : このコマンドを使用して定義するパスワード。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • URL—Cisco Unified Cisco Mobility Express の認証サーバーの URL アドレスは、http://Cisco Mobility ExpressIP Address/CCMCIP/authenticate.asp です。 |
| ステップ 6 | exit 例： Router(config-register-global)# exit | 音声登録グローバル構成モードを終了します。 |
| ステップ 7 | telephony-service 例： Router(config)# telephony-service | テレフォニー サービス コンフィギュレーションモードを開始します。 |
| ステップ 8 | authentication credential application-name password 例： Router(config-telephony)# authentication credential application-name password | 認証クレデンシャルを指定します。ステップ 5 のログイン情報を使用します。 (注) このステップは、ステップ 5 で Cisco Mobility Express 内部認証サーバーを電話機の認証サーバーとして設定した場合にのみ必要です。 |
| ステップ 9 | em keep-history 例： Router(config-telephony)# em keep-history | (任意) ユーザがエクステンション モビリティ電話機からログアウトしても、コール履歴を自動的にクリアせずに、エクステンション モビリティで保持されるように指定します。 (注) デフォルト：電話履歴の自動クリアは有効になっています。 |
| ステップ 10 | em logout time1 [time2] [time3] 例： Router(config-telephony)# em logout 19:00 24:00 | (任意) すべてのエクステンションモビリティユーザを自動的にログアウトする時刻タイマーを、最大 3 つ定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>time</i> — ログインユーザーが、エクステンションモビリティから自動でログアウトされる時間。範囲：24 時間制で 00:00 ~ 24:00。 |
| ステップ 11 | end 例： Router(config-telephony)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

エクステンションモビリティ向け SIP 電話機の有効化

Cisco Unified CME で SIP 電話機のエクステンション モビリティ機能を有効にするには、次の手順を実行します。



(注) URL プロビジョニングをサポートする画面を持つすべての Cisco Unified SIP 電話機は、エクステンション モビリティによってサポートされます。

始める前に

- Cisco Unified CME ルータで HTTP サーバが有効になっていること。
- 電話機に割り当てるデフォルト ログアウト プロファイルとユーザープロファイルが Cisco Unified CME で設定されていること。
- デフォルトのログアウト プロファイルとユーザープロファイルの音声レジスタ ディレク トリ番号が Cisco Unified CME で設定されていること。SIP ディレク トリ番号を構成するには、『[Cisco Unified Communications Manager Express コマンド参照ガイド](#)』を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **id mac *mac-address***
5. **type *phone-type***
6. **logout-profile *profile-tag***
7. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力 します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | voice register pool <i>pool-tag</i> 例： | 電話機コンフィギュレーションモードを有効にしま す。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|--|
| | Router(config)# voice register pool 22 | <ul style="list-style-type: none"> • pool-tag : 構成タスク中にこのレジスタ プールを識別する一意の番号。範囲は 1 ~ 42 です。 |
| ステップ 4 | id mac <i>mac-address</i> 例 : Router(config-register-pool)# id mac 0123.4567.89AB | 物理的な電話機をこの ephone 設定に関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> • mac-address : 物理的な電話機の MAC アドレス。 |
| ステップ 5 | type <i>phone-type</i> 例 : Router(config-register-pool)# type 7970 | 設定する電話機に電話機タイプを定義します。 |
| ステップ 6 | logout-profile <i>profile-tag</i> 例 : Router(config-register-pool)# logout-profile 22 | エクステンションモビリティ用に Cisco Unified SIP 電話機を有効にして、この電話機にログアウトプロファイルを割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> • profile tag : この電話機に電話機ユーザがログインしていない場合に使用されるログアウトプロファイルの固有識別子。このプロファイルが voice logout-profile コマンドを使用して構成された場合、このタグ番号は作成したタブ番号に対応します。 |
| ステップ 7 | end 例 : Router(config-ephone)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

ユーザープロファイルの設定

エクステンションモビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone にログインしている電話機ユーザのユーザープロファイルを設定するには、次の手順を実行します。



(注) **ephone-template** および **ephone-dn-template** コマンドを使用して作成したテンプレートは、エクステンションモビリティのユーザープロファイルに適用されます。

**制約事項**

- ボタンの外観について、エクステンション モビリティは、電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザープロファイルのスピードダイヤル定義を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ビープ音呼び出し、機能呼び出し、モニター呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順になります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多い数の、ディレクトリ番号とスピードダイヤル番号がプロファイルに含まれている場合、すべての番号がボタンにダウンロードされるわけではありません。
- ラインアピアランス用に設定された最初の番号を、モニター対象のディレクトリ番号にすることはできません。
- 認証クレデンシャルのユーザ名パラメータは一意にする必要があります。Cisco Unified Cisco Mobility Express で、2 つ以上の認証ログイン情報を構成する場合は、ログアウトのユーザー名やエクステンションモビリティのユーザープロファイルなど、ユーザー名に同じ値を使用しないでください。

始める前に

- ログアウトプロファイルに含めるすべてのディレクトリ番号、またはユーザープロファイルが、Cisco Unified CME で事前に設定されていること。構成情報については、[基本通話を発信する電話機の構成](#)を参照してください。
- 自動ログアウト用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。
- エクステンションモビリティ電話機でのプライバシー用には、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice user-profile *profile-tag***
4. **user name password *password***
5. **number *number* type *type***
6. **speed-dial *speed-tag* *number* [**label** *label*] [**blf**]**
7. **pin *number***
8. **max-idle-time minutes**
9. **privacy-button**
10. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | <p>enable</p> <p>例 :</p> <pre>Router> enable</pre> | <p>特権 EXEC モードを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | <p>configure terminal</p> <p>例 :</p> <pre>Router# configure terminal</pre> | <p>グローバル構成モードを開始します。</p> |
| ステップ 3 | <p>voice user-profile profile-tag</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# voice user-profile 1</pre> | <p>エクステンションモビリティ用にユーザープロファイルを設定するため、音声ユーザープロファイルコンフィギュレーションモードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>profile-tag</i> — 構成タスク中にこのプロファイルを識別する一意の番号。範囲：1 から、サポートされる電話機の最大数に3を掛けた値まで。この最大数はプラットフォームによって異なります。? と入力し、値を表示します。 |
| ステップ 4 | <p>user name password password</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# user me password pass123</pre> | <p>エクステンションモビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone に電話機ユーザがログインできるようにするには、Cisco Unified CME で認証されるためのクレデンシャルをあらかじめ作成しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>name</i> — この認証ログイン情報のみに関して、ユーザーを識別するための一意の英数文字列。 • <i>password</i> — 認証済みユーザーのパスワード。 |
| ステップ 5 | <p>number number type type</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# number 2001 type silent-ring Router(config-user-profile)# number 2002 type beep-ring Router(config-user-profile)# number 2003 type feature-ring Router(config-user-profile)# number 2004 type monitor-ring Router(config-user-profile)# number 2005,2006 type overlay Router(config-user-profile)# number 2007,2008 type cw-overly</pre> | <p>回線定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>number</i> — このプロファイルに構成する電話機のボタンに関連付けられ、その横に表示されるディレクトリ番号。 • <i>[,...number]</i> — (オプション) オーバーレイ回線専用。通話中着信の有無は無関係です。コマンドリストの最も左側にあるディレクトリ番号のプライオリティが最も高くなります。最大 25 個の番号を使用できます。個々の番号は、カンマで区切る必要があります。(,) |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • type type — この回線に関連付ける特性を指定します。オプションのリストを表示するには、? と入力します。 |
| <p>ステップ 6</p> | <p>speed-dial <i>speed-tag number</i> [label label] [blf]</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# speed-dial 1 3001 Router(config-user-profile)# speed-dial 2 3002 blf</pre> | <p>スピードダイヤル定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • speed-tag — 構成タスク中にスピードダイヤル定義を識別する一意のシーケンス番号。範囲：1～36。 • number [スピードダイヤル (Speed-Dial)] ボタンを押したときにダイヤルされる番号。 • label label — (オプション) [スピードダイヤル (Speed-Dial)] ボタンの横に表示される識別用テキストを含む文字列。文字列にスペースを含む場合は引用符で囲みます。 • blf — (オプション) スピードダイヤル番号用の話中ランプフィールド (BLF) モニタリングを有効にします。 |
| <p>ステップ 7</p> | <p>pin <i>number</i></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# pin 12341</pre> | <p>電話機ユーザが使用する Personal Identification Number (PIN) を設定して、このプロファイルがダウンロードされる Cisco Unified IP Phone のコールブロッキング設定を無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number — 4～8桁の数字を含む数字列。 |
| <p>ステップ 8</p> | <p>max-idle-time <i>minutes</i></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# max-idle-time 30</pre> | <p>(任意) エクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトするためのアイドル期間タイマーを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンでサポートされません。 • minutes — アイドル状態のエクステンションモビリティ電話機からユーザーがログアウトされるまでの分単位の最大時間。範囲：1～9999。 |
| <p>ステップ 9</p> | <p>privacy-button</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-user-profile)# privacy-button</pre> | <p>(任意) IP Phone でプライバシー機能ボタンを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、オクトラインディレクトリ番号を共有する電話機に対してのみ有効にします。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|--|---|
| | | <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3以降のバージョンでサポートされません。 |
| ステップ 10 | end 例： Router(config-user-profile)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

エクステンション モビリティの設定例

SIP 電話機の使用に向けたエクステンションモビリティの構成例

次に、SIP 電話機でエクステンションモビリティを使用できるようにするための設定例を示します。

```
Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

Router(config)#ip http server
Router(config)#voice register global
Router(config-register-global)#$.2.0/CCMCIP/authenticate.asp admin password
Router(config-register-global)#exit
Router(config)#telephony-service
Router(config-telephony)#authentication credential admin password
Router(config-telephony)#em keep-history
Router(config-telephony)#em logout 19:00
Router(config-telephony)#end
```

エクステンションモビリティの使用に向けた SIP 電話機の構成例

次に、SIP 電話機でエクステンションモビリティを使用できるようにするための設定例を示します。

```
Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.

Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Router(config)#voice register pool 1
Router(config-register-pool)#id mac 12.34.56
Router(config-register-pool)#type 7960
Router(config-register-pool)#logout-profile 22
Enabling extension mobility will replace current phone configuration with logout
profile, continue?? [yes]: y
Router(config-register-pool)#end
```

ログアウトプロファイルの構成例

次に、エクステンションモビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone のデフォルトアピアランスを定義するログアウトプロファイルの設定の例を示します。電話機に、このプロファイルのどの回線とスピードダイヤルボタンが設定されるかは、電話機のタイプによって異なります。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 では、logout profile1 に従って、すべてのボタンが設定されます。それに対して、電話機が Cisco Unified IP Phone 7960 の場合は、6つの回線はすべて電話機のボタンにマップされますが、スピードダイヤルに使用できるボタンがないため、スピードダイヤルは無視されます。

```
voice logout-profile 1
  pin 9999
  user 23C2-8 password 43214
  number 3001 type silent-ring
  number 3002 type beep-ring
  number 3003 type feature-ring
  number 3004 type monitor-ring
  number 3005,3006 type overlay
  number 3007,3008 type cw-overly
  speed-dial 1 2000
  speed-dial 2 2001 blf
```

エクステンションモビリティ向け IP 電話機の有効化例

次に、3つの IP Phone に対する ephone の設定例を示します。3つすべての電話機はエクステンションモビリティが有効になっており、同じログアウトプロファイル番号1を共有しています。このプロファイルは、これらの電話機がブートされたとき、および電話機ユーザが電話機にログインしていないときにダウンロードされます。

```
ephone 1
  mac-address 000D.EDAB.3566
  type 7960
  logout-profile 1

ephone 2
  mac-address 0012.DA8A.C43D
  type 7970
  logout-profile 1

ephone 3
  mac-address 1200.80FC.9B01
  type 7911
  logout-profile 1
```

ユーザープロファイルの構成例

次に、エクステンションモビリティが有効になっている Cisco Unified IP Phone に、電話機ユーザがログインしたときにダウンロードされるユーザープロファイルの設定例を示します。ユーザがログイン後、電話機にこのプロファイルのどの回線とスピードダイヤルボタンが設定されるかは、電話機のタイプによって異なります。たとえば、ユーザが Cisco Unified IP Phone 7970 にログインすると、voice-user profile1 に従って、すべてのボタンが設定されます。ところが、電話機ユーザが Cisco Unified IP Phone 7960 にログインすると、6つの回線はすべて電話機

のボタンにマップされますが、スピードダイヤルに使用できるボタンがないため、スピードダイヤルは無視されます。

```
voice user-profile 1
  pin 12345
  user me password pass123
  number 2001 type silent-ring
  number 2002 type beep-ring
  number 2003 type feature-ring
  number 2004 type monitor-ring
  number 2005,2006 type overlay
  number 2007,2008 type cw-overly
  speed-dial 1 3001
  speed-dial 2 3002 blf
```

次の作業

- 既存のログアウトプロファイルまたはユーザープロファイルを修正したか、それらのプロファイルを新規作成した場合は、電話機を再起動して、変更を伝播する必要があります。「[Cisco Unified IP Phoneのリセットと再起動](#)」を参照してください。
- エクステンションモビリティに対して1つ以上のCisco Unified IP Phoneを有効にした場合、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。「[電話機用構成ファイル](#)」を参照してください。

エクステンション モビリティの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェアリリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 3: エクステンション モビリティの機能情報

| 機能名 | Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン | 変更内容 |
|--|---|---|
| Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート | 9.0 | Cisco Unified SCCP IP EM 電話機をモニタするための、新しい MIB オブジェクトが追加されました。 |
| SIP 電話機のサポート | 8.6 | SIP 電話機のサポートが追加されました。 |

| 機能名 | Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン | 変更内容 |
|--------------------------|---|---|
| エクステンションモビリティの拡張機能 | 7.0/4.3 | <p>次のサポートが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動ログアウト。次のものなど。 • すべてのエクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトするための、設定可能な時刻タイマー。 • アイドル状態のエクステンションモビリティ電話機から個々のユーザをログアウトするための、設定可能なアイドル期間タイマー。 • ユーザがエクステンションモビリティからログアウトするときの電話履歴の自動クリア。 |
| スピードダイヤル用の電話機ユーザインターフェイス | 7.0/4.3 | <p>エクステンション モビリティ ユーザが自分のスピードダイヤル設定を電話機に直接設定できる、電話機ユーザインターフェイスが追加されました。</p> |
| エクステンションモビリティ | 4.2 | <p>エクステンション モビリティが有効になっている、任意のローカル Cisco Unified IP Phone にユーザがログインできるようにすることで、電話機のモビリティという利点をエンドユーザに提供します。</p> |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。